

ルミネクス照明 KM1A型~KM3A型 各種に適用

型番 SBEJ41・8BEJ41・GBEJ41・TBEJ41
 SBEJ42・8BEJ42・GBEJ42・TBEJ42
 SBEJ43・8BEJ43・GBEJ43・TBEJ43

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
 一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
 この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	 禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。 このような場所には取付けないでください。 この器具は門柱取付専用器具です。天井・傾斜天井・壁などには取付けできません。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	 アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 厳守	タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。 →火災・感電の原因になります。 パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。
 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

 注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
SBEJ41・8BEJ41・GBEJ41・TBEJ41 SBEJ42・8BEJ42・GBEJ42・TBEJ42 SBEJ43・8BEJ43・GBEJ43・TBEJ43	AC100V	60W	クリプトン球 60W(E17)×1

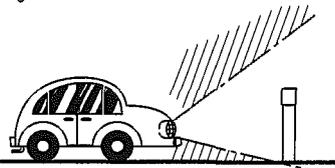
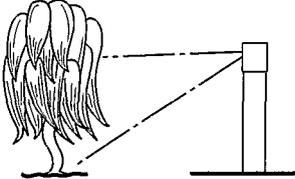
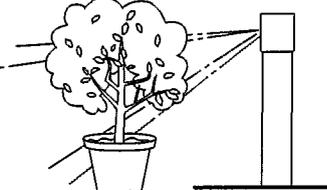
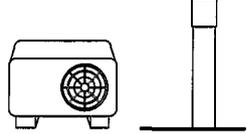
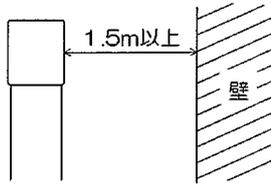
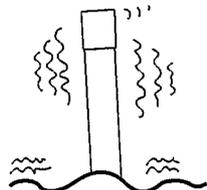
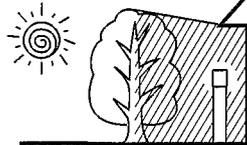
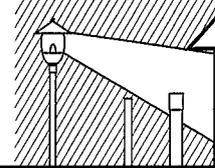
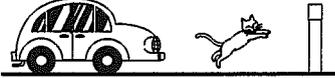
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。

※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- 下図のような場所には取付けない。
誤動作の原因になります。

<p>車のヘッドライトなど、強い光が直接あたる場所には取付けないでください。</p> 	<p>風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。</p> 	<p>感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。</p> 
<p>エアコンの室外機の近くには取付けないでください。</p> 	<p>壁から1.5m以上離して取付けてください。</p> 	<p>不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。</p> 
<p>昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。気象条件によりバラツキがあります。</p> 	<p>夜間でも明るい場所(隣地や他の照明があたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。</p> 	<p>感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。</p> 

- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

2 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤動作の原因になります。

3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

4 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

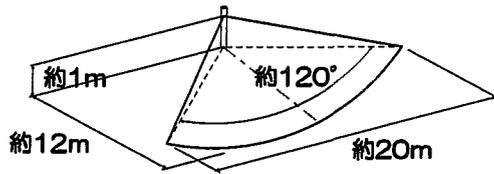
誤動作の原因になります。

5 壁スイッチを設ける

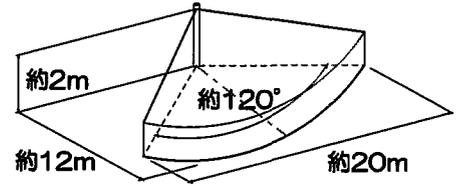
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

器具の性能を確保するため、設置場所は感知エリアを考慮して決定してください。
 ○センサーの特性上、感知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体感知の信頼性がより向上します。
 ○センサー正面に向かって人が近づくような位置に設置しますと、感知しにくい場合があります。

■センサー感知エリア（目安） [センサー位置高さ1m]

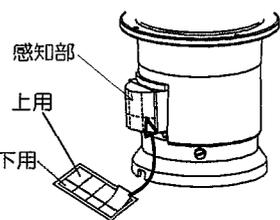


[センサー位置高さ2m]



※赤外線の到達距離は12m以上です。それ以上でも感知する場合がありますので設置の際は感知エリアを確認してください。

■センサー感知エリアをカットしたい場合

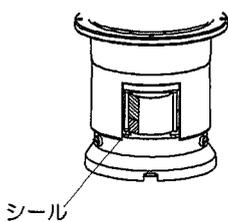


検知エリアカットシールを希望の感知範囲に合わせて貼り付けてください。感知エリアを段階的に調整することができます。

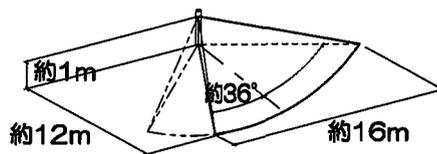
調整の際は必ず感知エリアを確認しながら行ってください。

【カットした場合のセンサー感知エリアの目安】

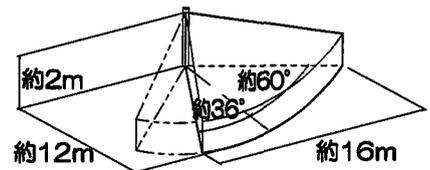
○上下シールを片側に貼り付けた場合 センサー感知エリアの角度を狭くできます。



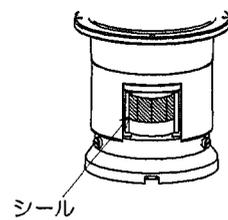
[センサー位置高さ1m]



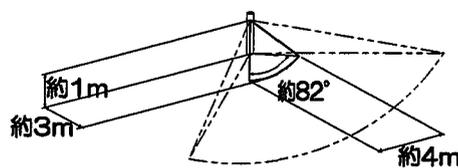
[センサー位置高さ2m]



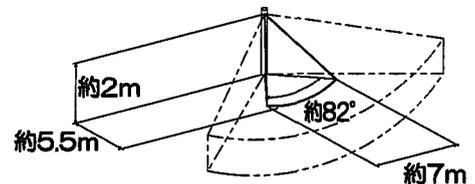
○上シールを全面に貼り付けた場合 センサー感知エリアの角度および距離を小さくできます。



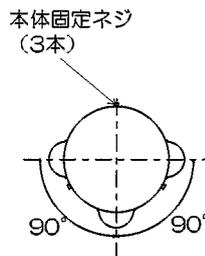
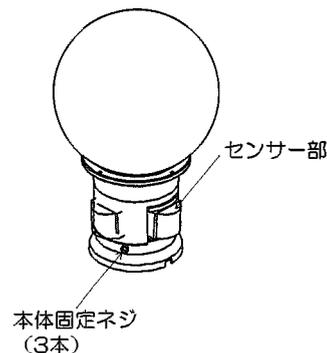
[センサー位置高さ1m]



[センサー位置高さ2m]



■センサー部の可動範囲



水平感知エリア方向が本体部を動かすことにより左右90°づつ（左図参照）調節できますので本体固定ネジ（3本）をゆるめて感知エリア方向を十分検討の上設定してください。

設定後、十分に締め付け固定してください。

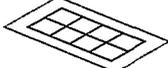
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

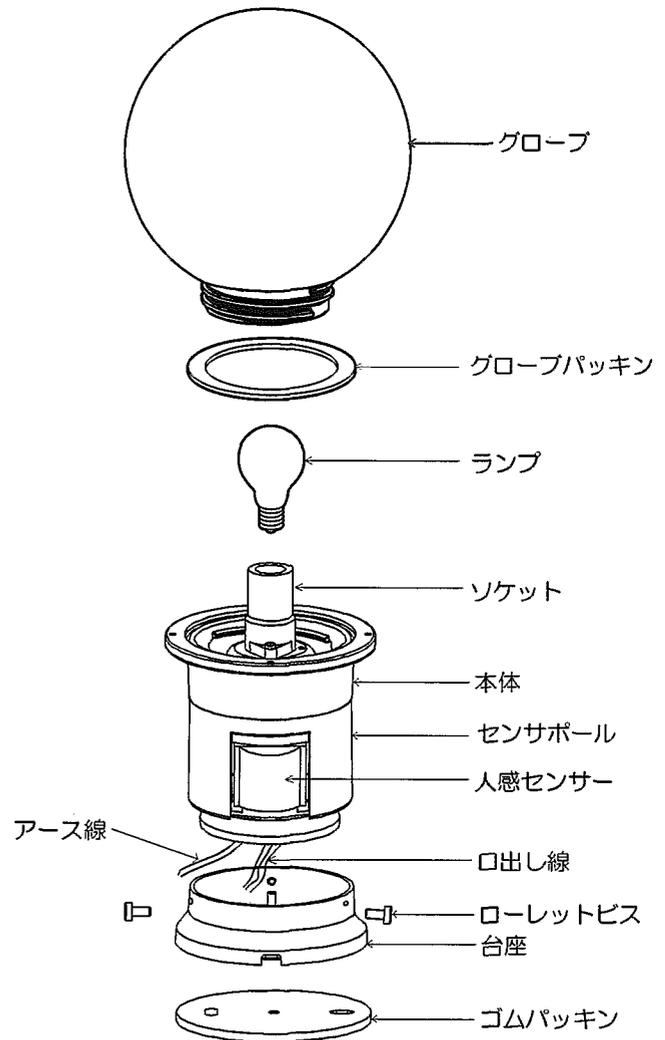
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

※ オプションガードを取付ける場合は
 ガード取り付け方法に従い先にガードを
 取付けてください。

電源線を接続した後ではガードを
 取り付けできません。

〈付属部品〉

-  自己融着テープ・・・3枚
-  検知エリア
カットシール・・・1枚
-  取付ネジ・・・2本
-  ワッシャ・・・2枚
-  ブッシング・・・2個

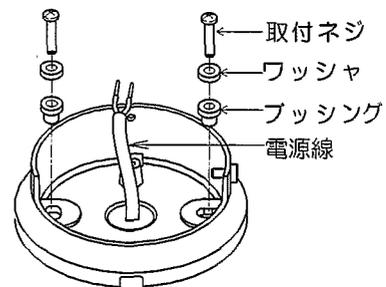


1 電源線をゴムパッキンと台座に通し取付ける

ゴムパッキンの取付穴位置を台座の取付穴位置と合
 わせ、ブッシング、ワッシャ、取付ネジで取付ける。

※ オプションガードを取付ける場合は
 ガード取り付け方法に従い先にガードを
 取付けてください。

電源線を接続した後ではガードを
 取り付けできません。

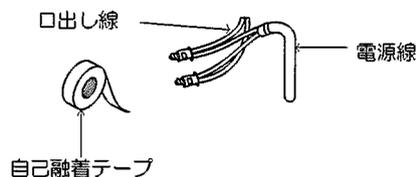


2 電源線を接続する

電源線と口出し線を確実に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

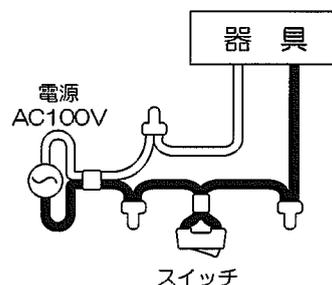
△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

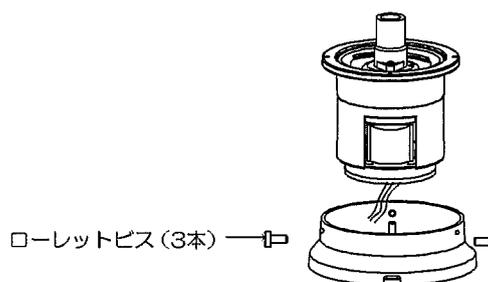
注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

壁スイッチの操作については8ページの「その他の設定」
「モードの切り替えを壁スイッチで操作する」の項をご覧ください。



3 本体を取付ける

台座に本体を合わ入れローレットビス(3本)で
しっかり締め込み本体を固定して下さい。

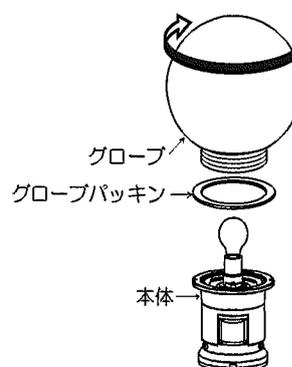


4 ランプを取付ける

5 グローブを取付ける

グローブ、グローブパッキンを本体に合わせ、矢印
方向に回して取付ける。この際グローブパッキンが
よじれたりしないように確実に取付ける。

※無理な力は加えないでください。



6 点灯の確認を行なう

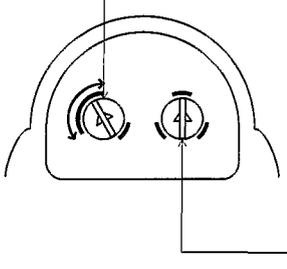
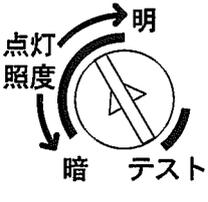
7 必要に応じて感知エリアを調整する

詳しくは5. 6ページ「感知エリアの設定」の項をご覧ください。

8 センサの設定をする

詳しくは5ページ「センサ設定について」の項をご覧ください。

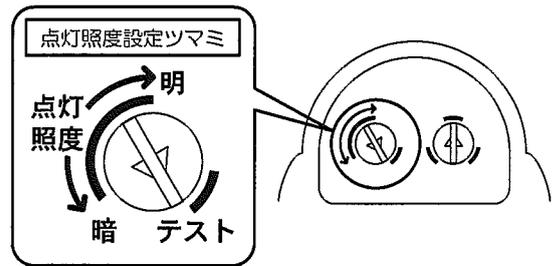
■ センサの設定について

ツマミ		ツマミ位置	設定内容
	 <p>点灯照度設定 ツマミ</p>	暗 : 約10 Lxで点灯 明 : 約100 Lxで点灯 テスト : 周囲が明るい状態でも点灯	人感センサのはたらかし始める周囲の明るさの設定とセンサの動作確認(テスト)ができます。
	 <p>6時間調光 動作設定 ツマミ</p>	ON/OFF : オン/オフモードで作動 6hタイマ : 6時間(タイマー)モードで作動 調光 : 調光モードで作動	人感センサの動作をお好みのモードに設定できます。

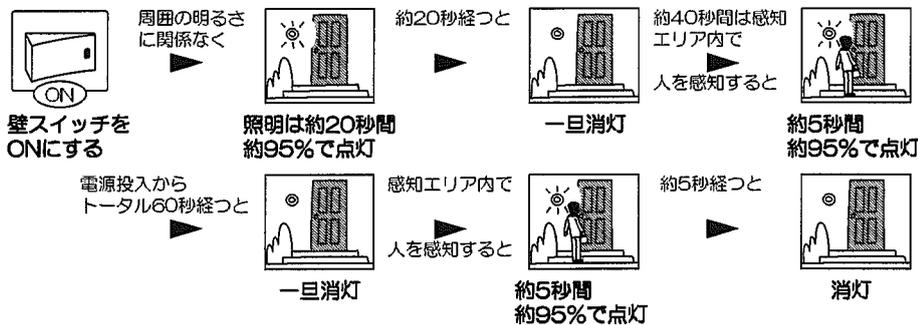
※ツマミの矢印は目盛りの範囲()外には合わせないでください。

■ 感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



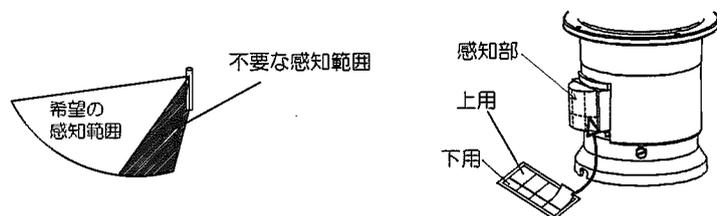
- ① 電源投入後、約20秒間約95%で点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間約95%で点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。結線および負荷の作動を確認できます。
- ② 明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間約95%で点灯します。感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。



※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

■ センサー感知エリア設定方法

- ① 不要な感知範囲の調整は同梱の検知エリアカットシールを感知部に希望の感知範囲に合わせて貼り付けてください。



■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください

●センサの動作について(動作設定つまみ)

<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。動作設定つまみをお好みのモードに合わせてください。

※電源投入後、約20秒間約95%で点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間約95%で点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります。

● オン/オフモード



照度センサが作動中に人が近づくと約95%で自動点灯し、人がいなくなると消灯します。

● 調光モード



照度センサが作動すると約50%で自動点灯します。人が近づくと約95%にアップし、人がいなくなると約50%に戻ります。

● 6時間タイマーモード

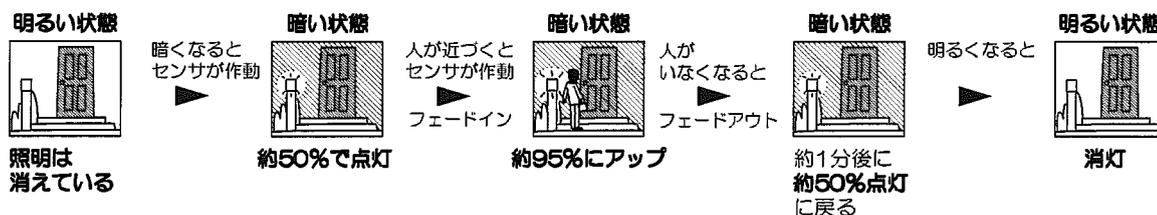


照度センサが作動すると約6時間は約50%で自動点灯します。人が近づくと約95%にアップし、人がいなくなると約50%に戻ります。6時間後オン/オフモードになります。

● オン/オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)

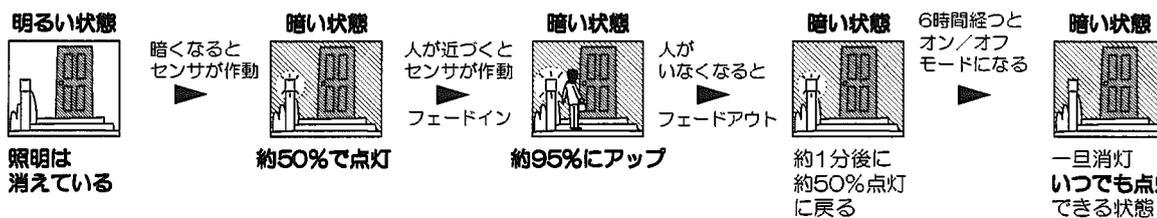


● 調光モード(暗くなるとほんのり点灯で安心)



● 6時間調光モード

(調光モードとオン/オフモードの組み合わせで安全・省エネ)



← 調光モード(約6時間) → オン/オフモード →



フェードイン・・・徐々に明るくなり、約95%点灯
 フェードアウト・・・徐々に暗くなり、約50%点灯または消灯
 点灯時の%は電力値です

※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

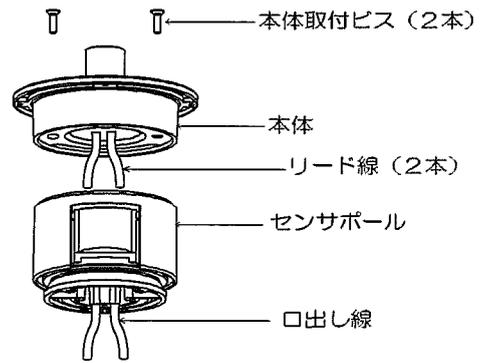
■オプションガード取り付け方法

1 本体をセンサポールから取りはずしてください。

本体取付ビス（2本）をゆるめて取り外してください。

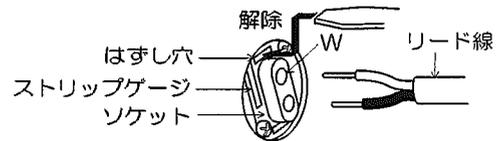
※ オプションガードを取付ける場合は
ガード取り付け方法に従い先にガードを
取付けてください。

電源線を接続した後ではガードを
取り付けできません。



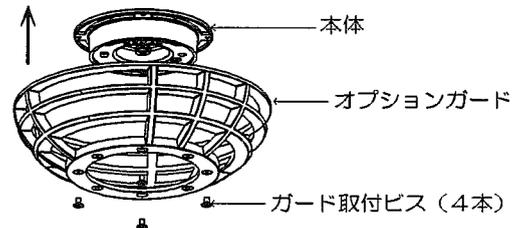
2 リード線を抜く

はずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、
ソケット部に挿入されているリード線を抜いてください。



3 ガードを取付ける

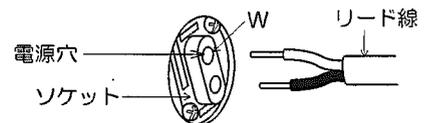
オプションガードを本体に吻合し
ガード取付ビス（4本）で取付けてください。



4 電源線を接続する

ソケットの電源穴に合わせてリード線を
確実に差し込む。

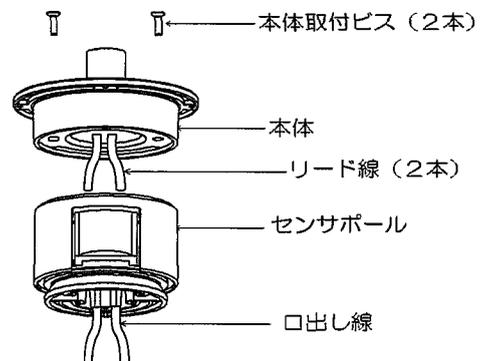
⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



5 本体をセンサポールに取付ける。

本体取付ビス（2本）で取付けてください。

※電源線結線時は、同梱の自己融着
テープを御利用ください。



■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

どんな状態ですか?

考えられる原因

こうしてください

感知範囲に人がいるのに 点灯しない	電源が入っていない	壁スイッチ、その他器具についているスイッチを再度確認してください
	ランプがゆるんでいる	ソケットとランプの締め付け部を再度確認してください
	ランプが切れている	ランプを交換してください

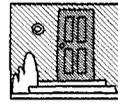
■その他の設定

- 壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

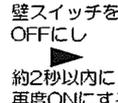
周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。

センサ待機モード



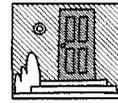
壁スイッチON

明るさに関係なく



連続点灯

センサ待機モード



照明はいつでも点灯できる状態

8時間後に消灯
センサ待機モードに戻る

壁スイッチをOFFにし
約2秒以内に再度ONにする

■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (プルレス操作)

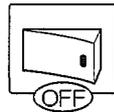
- この器具は、センサ待機モード(オン/オフ・6時間タイマー・調光)と連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

電源OFF

壁スイッチ



壁スイッチ：OFF
ランプ：消灯

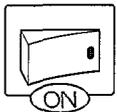
※ご使用の壁スイッチが、押しボタン式など電源のON・OFF状態がわからないタイプの場合は、下記の操作を確実に行ってください。

人を感知して点灯させたい

長時間(8時間)点灯させたい

センサ待機モード

壁スイッチをONにします。
ランプが約20秒間約95%で点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したセンサ待機モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯できる状態

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。

連続点灯モード

壁スイッチをONにします。
再度OFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。



壁スイッチ：ON
ランプ：点灯

※連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的に設定したセンサ待機モードに戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF→ON)を行なった場合、再度その時点から約8時間の連続点灯モードになります。

※連続点灯は周囲の明るさ・人体感知に関係なく点灯する状態です。

※センサ待機モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFFにししばらく(約5秒以上)してからONにすると、点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機モードになります。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとプルレス動作が正常にはたらかない場合があります。

壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しでも点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押ししてください。

！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

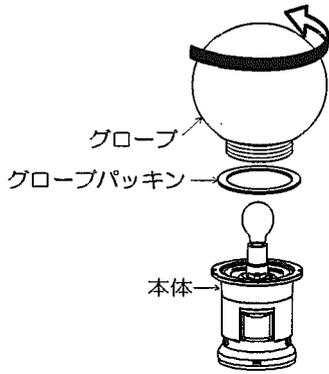
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

1 電源を切る

2 グローブを取外す

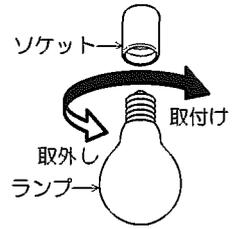
グローブを矢印の方向に回して本体から取外す。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。



5 グローブを取付ける

■施工手順5を参考にグローブを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。
3. ランプ・グローブ・点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間			
お客様様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

R100 100%再生紙を使用しています。

製造元 コイズミ照明株式会社

販売元 新日軽株式会社

お客様へ

コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。
取扱説明書と合わせて保管してください。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。

ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合も下記へご連絡ください。

製品・お取り扱いなどの
ご相談は

「お客様相談室」

修理・アフターサービスの
お問い合わせは

「サービスセンター」

ナビダイヤル(全国共通番号)

 0570-055123

受付時間：9:00～17:30

※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせ
します。

FAX 0729-86-5036
〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-3

ナビダイヤル(全国共通番号)

電話  0570-015123

FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:30
(年始2日を除く363日)

※呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせ
します。

●ナビダイヤルにかからない場合は、「お客様相談室」☎0729-86-5081にお電話願います。

(所在地、電話番号が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。) 2006年4月現在

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
ことは
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- コードを動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、
電源スイッチを切り、
必ず販売店に点検、修理
を依頼してください。

安全に
関する
ご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

♻️100%再生紙を使用しています。